

黒田庄まちづくり協議会より

<あつまっ亭チャレンジショップ>

西脇市黒田庄交流拠点施設「あつまっ亭」(JR黒田庄駅)では、利用を促進し、拠点のさらなる活性化につなげるため、曜日ごとに出店する“チャレンジショップ”を実施しています。6月から出店が1店増えましたのでお知らせしますとともに、多数のご来店をお待ちしております。

【火曜日】 村上玉恵さん(墨彩画・水彩画等の展示・販売)
午前9時30分から午後3時30分



【水曜日】 果実のせい(手作りパン・焼き菓子・ジャム等の販売)
午前10時から売り切れ次第終了



【土曜日】 黒っ娘おばんざい(巻きずし・惣菜等の販売)
午前11時から売り切れ次第終了



★令和5年6月2日から出店★

【金曜日】 クラフトバンド・PPバンド 雑貨の店(クラフトバンドやPPバンドで作った雑貨やバッグ等の販売)
シフォンケーキなどの手作りスイーツとコーヒー・紅茶のカフェも検討中
午前10時から午後2時

【お問合せ先】

西脇市黒田庄交流拠点施設「あつまっ亭」 電話 0795-28-5880

第203号5月

黒田庄つうしん

編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和5年5月15日発行



黒田庄地区の人口

(R5.5.1現在)

男 3,024

女 3,224

計 6,248

世帯数 2,640

人口前月比 (-26)

<黒田庄こども園ニュース>

《楽しかった春の遠足♪》

4月28日、とても良い天気の中遠足に出かけました。

0,1歳児は園周辺のお散歩に…♪れんげ畑で遊んだり、電車を見たり、ゆったりと散歩を楽しみました。2,3歳児は園バスで日時計の丘公園へ…♪遊具で遊んだり、公園内を探索したり、何よりみんなでバスに乗れたことが嬉しかったようです。そして、4,5歳児は黒田の瀧尾グラウンドまで歩いて行ってきました。子どもたちにとっては長い道のり(約2キロ)を、途中休憩をはさみながら、最後までがんばって歩きました!!到着後は元気にゲームや鬼ごっこなど体を動かして遊びました。思い切り体を動かした後は、楽しみにしていたお弁当タイムです。おうちの方に作っていただいたお弁当をおいしくいただきました♡



電車バイバイ



アンパンマン号で出発!!



がんばってのぼるぞ!!



グラウンドはまだかな…



鬼ごっこの作戦タイム♪



0~3歳児はこども園で、
4~5歳児はグラウンドで
お弁当♡おいしかったね♪

《みんな元気にこどもの日の集い!!》

5月2日にこどもの日の集いを行いました。子どもたちは、こいのぼりのお話を聞いたり、歌をうたったり、ダンスをしたりと楽しい時間を過ごしました。園庭ではこいのぼりを目指してかけっこをし、子どもたちの元気な声が響いていました。園庭に泳ぐこいのぼりのように、みんな元気に大きくなあれ!!

テラスでランチ♪

「こいのぼりハンバーグ」



ダンス♪こいのぼりキッズ



よーいどん!!

(4)

★黒っ娘おばんざいより★

特産品開発グループ「黒っ娘おばんざい」は、地域の郷土料理や伝統食の製造販売、特産加工品の研究などに取り組み、地域の魅力発信のため、様々なイベントで巻き寿司などを販売し、食で地域の輪をつないで、さらに地域外へも広げていく活動をしています。

西脇市産業フェスタ・農業祭、みらフェス、あつまっ亭感謝祭、黒田庄軽トラ市(歳末市)などのイベントで巻き寿司を販売し、毎週水曜日に黒っこプラザ・北はりま旬菜館・北はりま田園空間博物館で巻き寿司・弁当など、毎週土曜日に「あつまっ亭」のチャレンジショップで巻き寿司・惣菜、毎週日曜日に北はりま旬菜館・北はりま田園空間博物館・茜が丘複合施設「みらいえ」で巻き寿司などを販売しています。2月3日の節分には予約の七色巻き・黒っ娘巻き・サラダ巻き・チキンカツロール巻き約600本を販売しました。また、新たな取り組みとして、職場等への昼食弁当の注文販売・味噌づくり・小学校児童の食育なども展開しています。

そして、もっとたくさんの方に黒田庄の特産品(牛肉・黒豆・ゴマ)などを使った惣菜を食べてもらいたいと思い、一緒に頑張ってくれる方を黒田庄つうしん第201号3月に募集をしましたところ、1名の方の応募があり、現在50代～80代までの8人で楽しく活動しています。



活動拠点 黒っこプラザ調理室



横断幕



巻き寿司作り



黒っこプラザで販売

編集後記

新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが「5類」に移行し、飲食・観光業界を中心に経済活性化が期待される新たな日常が5月8日に始まった。

「有事」から「平時」への転換に伴う経済効果が予測される一方、人手不足対策やマスク着脱を巡る課題もある。

今後、感染対策は個人や事業者の判断に委ねられるが、一刻も早く新型コロナウイルス感染症が無くなり、コロナ禍前の生活に戻ることを願うものである。

Y. I